

地方独立行政法人広島市立病院機構

広島市立北部医療センター安佐市民病院

消化器内科・内視鏡内科

医学生臨床実習Ⅱ（2週間型）

研修プログラム

2023.10.16

(1) 概要

令和4年5月1日に新病院開院に伴い内視鏡センターも8部屋に拡充されました。

医療DXとして内視鏡センターでは、EndoBRAIN-Eyeという国内初の深層学習による大腸内視鏡病変検出用のAIであり、検査中にリアルタイムでポリープ等の病変候補を検出することで、内視鏡医の病変発見をサポートしてくれます（興味のある方は是非当院にお越しください）。

われわれ消化器内科・内視鏡内科は消化管出血、急性閉塞性化膿性胆管炎、食道・胃静脈瘤出血などの救急疾患から消化器癌の内視鏡治療ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）などの最新治療まで数多くの症例を経験できます。

実際の診療現場での臨床研修を経験しこれから医師になるうえでの基本的な知識と技術、そして患者およびその家族、看護師などとのコミュニケーションを習得する研修を実践する。

(2) 目標

【一般目標】

- 1) 将来医師になる立場としての責任感、態度、専門的な知識と技術を学ぶ。
- 2) 基本的診療手技を身につける。
- 3) コミュニケーション能力を身につけ、患者およびその家族、看護師などパラメディカルと良好な人間関係を築く。
- 4) 実際の医療を実践するなかで自分の将来像を具体的に構築する。

【到達目標（行動目標）】

- 1) 消化器内科，内視鏡内科領域における以下の主要疾患について，病態，診断，治療を説明できる。
- 2) 基本的な診療知識に基づき，患者および家族から診療に必要な情報を収集し，取捨選択して整理できる。
- 3) 患者の愁訴に則した，各疾患領域の専門的身体診療を適切に実施し，所見を分析してその後の診療に必要な情報を収集できる。
- 4) 問診，理学的所見を基にし，鑑別診断を含めて以後の検査・治療計画を立案できる。
- 5) 消化器内科，消化器内視鏡領域における主要な検査・治療に参加し，その概要，手技，有用性，危険性を説明し，結果を解釈できる。
- 6) 検査あるいは治療の術前・術後の患者管理について説明できる。
- 7) 診療に必要な知識・情報（MEDLINE，医学中央雑誌や各種の診療ガイドライン等）を，適切に検索・収集することができる。
- 8) インフォームドコンセントに同席し，実際の習得法を理解し実践することができる。

(3) 基本的手技

- 1) 腹部レントゲンの読影と診断。
- 2) 腹部 CT 検査の読影と診断。
- 3) 消化管造影検査の基本手技と診断。
- 4) 腹部エコー検査の基本手技と診断。
- 5) 上部消化管内視鏡検査の基本手技と診断。
- 6) 肝生検の基本手技と診断。

(4) 主要疾患

以下の各疾患の病態と診断，検査，治療内容の適応と禁忌，偶発症について理解する。

消化管領域：食道・胃・十二指腸・小腸・大腸

- 1) 早期消化管癌（食道・胃・大腸）
- 2) 消化管出血（上部・下部）
- 3) 炎症性腸疾患（クローン病・潰瘍性大腸炎）
- 4) 感染性腸炎
- 5) 腸閉塞

胆・膵領域

- 1) 胆管癌・胆嚢癌
- 2) 膵臓癌

- 3) 急性膵炎
- 4) 急性胆嚢炎・胆管炎
- 5) 胆石症

肝臓領域

- 1) 肝臓癌
- 2) 急性・慢性肝炎（B型，C型）
- 3) 肝硬変
- 4) 食道・胃静脈瘤

(5) 研修方法

- 1) オリエンテーション

研修開始日に内視鏡センター医師控え室にて研修プログラムの内容を説明する。

- 2) 病棟研修

上記主要疾患の入院患者を受け持ち，診断，治療方針について上級医，研修医と相談し決定する。

- 3) 検査・治療

入院受け持ち患者を中心に検査・治療手技を修得する。

- 4) カンファレンス

内視鏡カンファレンス：毎日 18:00～ 内視鏡センター

消化管合同カンファレンス：毎週月曜 17:30～ 付属棟 1 階図書室

（内科・外科・放射線科・病理）

肝胆膵合同カンファレンス：毎週水曜 18:00～ 4 階カンファレンスルーム

（内科・外科・放射線科・病理）

病棟カンファレンス：随時 病棟

週間予定(例)

	月	火	水	木	金
朝	病棟回診				
午前	胃内視鏡	腹部エコー /X線検査	ESD/ 小腸内視鏡	救急外来	腹部エコー
午後	大腸内視鏡 /EMR	肝生検 /RFA	大腸内視鏡 /EMR	大腸内視鏡 /EMR	大腸内視鏡 /EMR

	ESD/ERCP	EIS/EVL	ESD/ERCP	ERCP	ERCP
夕	病棟回診・カンファレンス				

月曜日と木曜日の午前中：専任指導医，金曜日：上級医が救命救急外来で診療を担当しており消化器疾患患者の初期診療にあたる。

(6) 指導体制

1) 専任指導医

- 山根 大寛（消化器内科医師）：入院担当患者について直接指導する
- 長尾 暁憲（消化器内科医師）：入院担当患者について直接指導する
- 大家進太郎（消化器内科医師）：入院担当患者について直接指導する

2) 上級医

- 福本 晃（内視鏡内科医師）：検査・治療について指導する
- 行武 正伸（消化器内科医師）：検査・治療について指導する
- 青山 大輝（消化器内科医師）：検査・治療について指導する
- 朝山 直樹（消化器内科医師）：検査・治療について指導する
- 榎木 慶一（消化器内科医師）：検査・治療について指導する
- 嶋田賢次郎（内視鏡内科医師）：検査・治療について指導する
- 松本 健太（消化器内科医師）：検査・治療について指導する
- 關藤 剛（消化器内科医師）：検査・治療について指導する
- 末廣 洋介（消化器内科医師）：検査・治療について指導する

3) 総括指導医

- 永田 信二（消化器内科医師）：研修プログラム総括責任者

(7) 評価

学生の評価は以下で行う。

評価項目

- | | |
|--------------------|-------|
| 指導医による学生の行動内容の評価 | 配点 30 |
| カンファレンスでのプレゼンテーション | 配点 20 |
| 学生用カルテの内容 | 配点 20 |
| ポートフォリオの内容 | 配点 30 |